

# まさゆき新聞

M A S A Y U K I S H I N B U N

編集・発行：まさゆき倶楽部事務局

まさゆき倶楽部事務局 東興華空間 目黒区柿の木坂3-3-1 TEL03-3414-7562 FAX03-3410-5130

### 猛暑の夏が終わり

いくぶん過ぎやしやすくなりましたが皆様お元気でしょうか。この夏私は未だかつてない程の沢山の移動をしましたが元気に活動中です。演奏生活 30 周年の今年は更に新しい地でのコンサートも増え充実した日々を送っております。この秋も皆様のお越しをお待ちしております。

29.9.2013 二子玉川にて

### 木野雅之

### 木野雅之さんと湘南モーツァルト愛好会

### 「木野ちゃん」との交友抄

\$ 1

「うわあ、大きな人だ！」というのがお会いした時の第1印象。多分今から7年前の平塚でのラスカのコンサート後のパーティーでのことだった。でもあのチャージングな笑顔とで人懐っこい優しい話しぶりに何かものすごく惹かれた。

1991年モーツァルト没後200年を記念して藤沢で創立された湘南モーツァルト愛好会の企画を引き受け、まだそれほど多くの演奏家とのコネがなく、出演者探しに奔走していた時、平塚のラスカの役員で当

会の会員でもあるMさんから良い人がいるから紹介をしてあげましょうということ、ラスカでのコンサートの後の打ち上げでお会いしたのが、2005年だったと思う。当会の井上名誉会長がラスカと深い関係を持たれていたせいもあって



●木野 雅之 (Vn) と仲間達による弦楽五重奏  
2013.5.12 14:00~17:00 藤沢リラホール (第136)

トの作品を少なくとも半分以上入れたプログラムを作らねばならないのが企画では最も苦労するところとなっている。演奏家の全ての方が必ずしもモーツァルトを得意にされているわけではないからだ。

また、会場の藤沢リラホールの収容人員や当会の会員数(約200名)からすると、大きなオーケストラ物は不可能なので自然に室内楽が中心となり、私が企画を担当する以前は例えば協奏曲の演奏は全く行われていなかった。しかし会員からは協奏曲や交響曲も聴きたいと言う要望が絶えずあり、その対応に苦慮していた私の頭にある時浮かんできたのが、学校やオーデイションなどでやるように協奏曲をピアノ伴奏でやってみようということであった。そこで試験的に、ピアノ協奏曲を2人のピアノリストでやってみようとしたところ、会員からは大好評であり、これに力を得て、オーボエやクラリネットなどの管楽器の協奏曲に次々と挑戦したが、いずれも幸いなことに会員には受けが良かった。そこで、まだ1曲もやっていなかったヴァイオリンを誰に演奏して頂けるかで悩んでいたところ上記のような事情で木野雅之さんという素晴らしい方に巡り会えた次第であった。

か、お話しをさせて頂いたら即出演をOKして下さい、それから現在まで3回に亘ってのご出演というお付き合いが始まった。

最初は2007年11月にモーツァルトのヴァイオリン・コンチェルトの2曲をメインにお願いした。当会の場合、会の性格上、モーツァル

§ 2

「ご出演を快くお引き受けいただいた木野さんもヴァイオリン協奏曲をピアノ伴奏で2曲——しかも名曲の第3番K216と第5番219「トルコ風」——という私の超「無謀な」アイデアには戸惑われたかもしれない。しかし、電話などでのネゴの過程で次第に乗って来て下さり、水月美恵子さんというこれまた素晴らしいピアノリストをご紹介賜ってお二人で2曲の名曲をやって下さることに遂に同意して下さいだったので。このような交渉を通じ、いつの間にかそのお人柄に魅かれ木野ファンになっている自分がいた。しかも協奏曲2曲では間が持たないだろうと何とあの人気の高いホ短調のヴァイオリン・ソナタK304及びロンドK373まで入ったオール・モーツアルトのプログラムが提示されてきた時には本当にびっくりしたものだ。

そして当日2007年11月18日。今でも手元に残っている会員のアンケートで見ると、演奏を聞いた直後の会員の率直な演奏評価は、「とても良かった」と「良かった」を足し合わせた満足度は100%になっている。「ソナタで泣けた」とか「当会では聴けないと思っていたヴァイオリン・コンチェルトが生で聴けた感動」という感想を読むにつけあの日の事が鮮明に思い出されてくる。

私には「トルコ風」がすごい感動的な名演であった。当会のコンサートでは出演者がメインの曲を終了された後、私とのトークをお願いしており、そこでこのようなピアノ伴奏での協奏曲の演奏についてお尋ねしたところ、木野さんから「始めは何か学校の授業の

様で抵抗あったけれど、ピアノの伴奏でオケとは違ったモーツアルトの良さの発見があった」というお言葉は今でも昨日の事のように覚えていて。兎に角、会員の満足度が最高であったコンサートであったし、あの優しいお母上ともお話しできたのがこの時でもあったが、私にとっての最高の喜びは木野さんが「この会は雰囲気がとても良いのでまた出たい」とおっしゃって下さったことだった。

木野さんとの再会の機会は意外に早

§ 3



●木野 雅之 (Vn) と仲間達による弦楽五重奏  
2013.5.12 14:00~17:00 藤沢リラホール (第136回)

くきた。それも向うの方から・・・丁度1年後の2008年11月の例会で室内楽をやられる事となったのだ。やはり当会に数回出演され、人気のあるピアノリスト平澤匡朗氏にピアノ・トリオの演奏をお願いしたところ「ではヴァイオリンは私の古

くからの友人でCDの録音も良く一緒にやっている人頼んでよいですか」とのお話があり誰ですかと伺った。木野さんの名前が挙がり、即座に了承させて頂いた。平澤さんもあまりの偶然にビックリされてお

られたが、結局お二人にチェロの川上徹さんを加えてのトリオで11月16日にK542と548の2つのトリオにピアノやヴァイオリンのソナタを加えたオール・モーツアルトの贅沢なプログラムが組成できた。この時、木野さんは普段あまり聴かれないK547のへ長調のヴァイオ

リン・ソナタを平澤さんと弾かれ、この曲の特異性をトークで熱っぽく語られたのを記憶している。トリオはさすがに息の合った3人の演奏で、こういつては失礼になるうが、体格のいずれも立派な方達が、モーツアルトの繊細な音楽を見事に再現されたのに感嘆させられ、当然のことながら、会員の評判も良くまた演奏者それぞれの方が、また出演の機会を作って欲しいと言われたのが私にとってはやたらと嬉しかった。

§ 4

その後当会へのご出演はしばらくはなく、木野さんから時々お電話を頂き、「次の出番はいつ？」などということもあったのだが、それ以外のところでお付き合いは続いていた。そんな中で、特筆すべきは、木野さんの先生であられるイヴリー・ギトリスさんが2010年に訪日された際の公開レッスンに呼んで頂いた事だ。この世界最高齢の現役ヴァイオリンリストは「幻の」と呼ばれ、私もかなりレコードやCDで聴きこんでおり、彼がまだチャイコフスキーのコンチェルトを演奏すると聴いてコンサートに出かけそのエネルギーシユな演奏に圧倒されたが、その際お会いした木野さんに「吉野さん、公開レッスンやるんだけれど席がまだあるから来ない？」と誘われたので、近くの友人でヴァイオリンを弾いて

いる人を誘って出かけた。既に小さな会場は満杯だったが、30分近くたっても講師が来ない。(慌てた?) 木野さんが電話したらまだホテルに居られるということでそれから急遽タクシーでかけつけられると言う騒ぎ。「幻の」老大家は、ベッドから直行してきたというスタイルで、まず洗面所で木野さんの櫛を借りて整髪、レッスンの合間に朝食というあまり見られぬユニークな光景に一段と親しみを覚えた。でもさすがに名教師、名演奏家、ヴァイオリンを弾かぬ私にとっても木野さんが通訳されるギトリスさんの意味深い言葉に、絶えず音楽とは何かを考えさせられた数時間で、とても興味深く勉強になり、最後には、木野さんにご紹介されて「幻さん」にサインをして頂いた。

この時の写真を木野母上が撮られ、今でも大切にしている。それからギトリスさんの訪日の際には、必ず聴かせて頂いている。

翌年2011年は、夏の軽井沢国際音楽祭の最終日にばったり。この最終日は必ず音楽監督でN響の元クラリネットのトップの横川星児さんが祝祭オーケストラの指揮をされるのだが、いつもコンミスをされる小林美恵さんが、プロコフィエフの協奏曲のソリストをやられたため、木野さんがコンマスを務められたものらしかった。私は横川ファンでもあり、またオケのメンバーを個人的に知っていることもあって毎年聴かせ

て頂いているのだが、偶然の出会いにビックリした。母上ともお話しできたのは幸いだった。

\$ 5

私が湘南モーツアルトの企画を担当してから、力を入れてくるものの中に、若手で無名の演奏家に演奏の場を提供することがある。そして、会員に受けの良かった演奏者はリピーターとして、かなり早いタイミングで再登板していただくという方針でやってきている。但し、ここで気をつけないといけないのは「学芸会」になるかもしれないということである。もし1回でもそのような例会があるとたちまち会員数が激減してしまうというリスクがそこにはあるのだが・・・

そんな中でここ数年私がサポートしてきた若い弦楽奏者が何人かおり、遂に昨2012年6月にはその方が



●木野 雅之 (Vn) と仲間達による弦楽五重奏  
2013.5.12 14:00~17:00 藤沢リラホール (第 136)

たを中心にメンデルスゾーンのおクテットを演奏して頂き、演奏者も聴衆も興奮の渦に巻き込まれた程の熱演が誕生した。そして、木野さんの再々登板の機会を考えている私の頭の中に、ふと彼ら若手に木野雅之という素晴らしい演奏家との共演によ

って何かを学んでもらえたらという考えが浮かんだのであった。この若手とのミーティングは通常、年2-3回のペリスで、私が銀行勤務時代職場のすぐ近くにあつて行きたつけど日本橋の某有名鉄板焼き店で行っているが、ここにはそれ以外に名物があり、それはスリランカの30種類ものスパイスを使った「ココット」という激辛のカレーなのだ。最初の打ち合わせでこれを食べさせられた若手のうちには、余りの辛さに汗まみれになってしまつてこちらが翌日心配して体調を確かめざるを得なかつた富田大輔君のような人もいたが、すぐに皆病み付きになつてしまひ、今では打ち合わせと言えば自動的にその店のココットに決まつており、先程のおクテットの名称も「ココット8重奏団」として演奏して頂いた。その際、その由来を私の解説で聞いた会員達は大笑していたが・・・

\$ 6

そうした打ち合わせのある日、私から特に気のあつた3人のメンバー(2人のフリーのヴァイオリストである内山隆達君と富田大輔君そして神奈川フィルのチェリスト長南牧人君)に、木野さんをトップにした弦楽5重奏のアイデアを話したところ、最初は皆信じられなかつたようだが、大いに期待が膨らんだらしく、是非お願いしたいと言うことになり、話し合いの結果曲目もモーツアルトの弦楽5重奏1曲と同じ編成(弦楽4重奏+第2ヴァイオラ)で出来るドヴォルザークの弦楽5重奏曲第3番Op.97を決定した。

それからはこちらの順番で、木野さんに電話でこちらのアイデアをお話したところ

始めは少々ためらわれていたようだったが、最後には「やる気の無い人はだめだからね」と言われただけで、OKを頂け、2013年5月12日の第136回例会に組み入れる事が出来た。そして木野さんがプロフェッショナルをこぞ覧になつてOKとなつた上

記の 3 人に日フィルの第 2 ヴァイオリンの田村昭博君を加えたメンバーで昨年 12 月 11 日、例の「コソット」ミーティングで待望の初顔合わせとなった。はたして木野さんが「コソット」にどう挑戦するかが最初の見もの。でも、大量の汗とともに、その豪快な食べっぷりを堪能させて頂いた。「すごく辛いけれど、おいしーいね！」というご感想は見事。いろいろな話題に興じながら、モーツァルトは死の年に書かれた K 6 1 4 の弦楽 5 重奏に決定。問題はもう 1 曲のドヴォルザークも同じ変ロ長調であることだが丁度両者の間に 100 年余のタイムラグがあることで上手く説明することとした。練習は本番前に 2 回、場所は木野さんのご好意で東京音大の練習室がお借り出来ることになった。この頃はもう皆、木野さんともすつかり打ち解けて、和気あいあいの雰囲気となり、私は演奏会の成功間違いなしとの確信を早くも得たのだった。

年が明けて早くも 4 月となり、こちらは例会の会報や解説の準備に追われる中で、最初の練習日の 4 月 2 9 日（祭日）が来た。連休中だが、皆の予定があったのがたまたまこの日の夕方であり、木野さんはこの日ロンドンから帰られてそのまま空港から学校へ直行されたのだった。朝空港からお電話があり、「今着いたから、練習は予定通りだからね」とおっしゃられたのにはびっくりした。

そして普段は演奏者にお任せしている練習などめったに覗かない私に、皆さんのご許可を得て、練習に立ち会わせて頂いた。当会の小川会長も非常に関心を持ち、同行を強く希望されこれも実現した。我々のお礼は大量の（？）おにぎりの差し入れで・・・全員揃ったところでまずはドヴォルザークから。この曲、1893 年 7 月に有名な弦楽 4 重奏曲「アメリカ」作品 96 に続いて同じ避暑地で僅か 1 ヶ月で書かれた名曲だが、「アメリカ」や同時期の「チェロ協奏曲」の蔭に隠れてしまい、意外にプロの人でも知らない人がいる。しかし、私にとっては思い出の深い曲。高校 2 年の時にウィーン 8 重奏団の余りに美しい演奏が琴線に触れ思わず涙して以来、時に触れて聴きこんでいる曲で私が湘南モーツァルトの企画を担当している間に絶対やりたいと思っていたが本当に良い機会とメンバーを得たの思い。ヴィオラが非常に活躍するが、第 1 楽章の冒頭富田君の第 2 ヴィオラの独奏からもうウルウルと来てしまう。全編美しいメロディーに満ち溢れつつい歌いたくなるほどだが、ドヴォルザークは機関車のマニアだったという説があり、この曲でもそれを証明するようナリズムのところがあって、面白い。木野さんも上手く皆をリードして下さって、「ここはすごく田舎くさい雰囲気のところだね、干し草の臭いぶんぶんしてくる」など

と冗談を言われて皆を載せている。

おにぎりで休憩の後、モーツァルト。こちらのリクエストで、繰り返しては省略しないでやって頂けることになった。これはモーツァルトが亡くなる 8 カ月前の作品で、前年スランプに陥ってその創作能力に陰りが見えたかに思えたモーツァルトが突然奮起して書いた最後の本格的室内楽だ。友人シカネーダーからの「魔笛」の注文や聖シュテファン大聖堂の副楽長の地位が決定しつつあったときのものらしく、希望に満ちた明るい部分もあるこれも隠れた名曲。

やはり若手も皆張り切って弾いており、緊張感にあふれているとともにみずみずしさも感じられる好演だ、しかも皆楽しそうで、ただ聴いているだけの私にはうらやましい限り・・・一人の脱落者もないことも嬉しい、そんな思いで時間の経つのも忘れてしまったが、予定の 8 時になったので終了。次回の日時を確認して全員帰途に就く。木野さんは海外帰りで大きなトランクを押して近くの地下鉄の駅まで。これでゆつくり休まれるのかと思ったらご自宅にまだ生徒さんが待機されておられると伺って小川会長と 2 人で本当にビックリした。何とエネルギーシユなお方（怪物）！！

本番直前の 5 月 10 日午後の 2 回目の練習では、もはや合わせが中心でなく細かいニュアンスが木野さんのリーダーのもとに付けられ、曲が

仕上がって行く過程が明確になる。

モーツァルトから始まったが、これでは、うちのうるさい会員も文句のつけようがないわと嬉しくなる出来栄え。ドヴォルザークに至っては、全員が一丸となって真剣でかかって来られる感じで、私もわくわくしながらのめりこんでしまう。こちらもこの 2 回の練習を聴講させて頂いたお蔭で 2 曲の構成がよく勉強できた。仕上がり順調なところから終了予定時刻を大幅に短縮して解散。その際、私から慰労会はまたカレー・ミーティングを提案し、一同喜んで(?) 了承された。後は 2 日後の本番残すのみ。駅までの途上で内山君から今回木野さんと一緒に演奏できた幸せと感謝を丁寧にな言われ、また他のメンバーから「吉野さん、このメンバーでカレー・ミーティングだけでな〜くまたなにかやらせてください」というとても嬉しいご要望も頂き、こちらも前向きに考えることを約して別れた。

## \$ 7

さあ、そして 5 月 12 日の本番、リラホールへ 10...30 には集合され、ゲネプロへ。実はこの 2 日間メンバーの多くから、「母親を招待して欲しい」とか「家内が来たいと言っています」とか「生徒に聴かせてやりたい」というメールが相次いで入り、メンバーの方がた自身が相当自信を持たれているのだと言う

感じを得た。本番前の委員会で耳をそばだてると素晴らしいモーツアルトが聞えて来る。成功間違いなしだ！

またこの日は当会の演奏に興味を持った地元のケープル・テレビの取材も入り、いつもより多くの会員や招待者で受け付けもごった返す嬉しい騒ぎとなる。

そしていよいよ2時からの本番、最前列の全員の表情や呼吸までが伝わってくる席で期待にたがわぬモーツアルトに酔う。練習の時の木野さんの注意が懐かしく思いだされ、もつとこの曲が続けばよいのにという感じで終了、熱演にもものすごい拍手。こちらは休憩後の後半に出番があり、ドヴォルザークの曲の解説、彼のアメリカでの生活や汽車の話をさせて頂き、席に戻ると全員が再登場して、あの富田君のヴィオラの美しい出だしから。あつという間の30分だった。今日日の録音を聴きながらこの原稿を書いているが、演奏者の表情などが鮮明に思い出されて、もう一度やって欲しいという感が強い。当会の恒例により、ここで私と出演者全員のトーク、木野さんも満足された印象のお話しをされたし、若手も皆興奮冷めやらず、「アイネ・クライネ」の第1楽章をアンコールに終了した後の演奏者とのパーティーでもいつもより多くの会員が参加して演奏者の熱演を讃えた。例のアンケートでの評価も98点を超す高得点で

ほっとする。今振り返ると、木野さんにご指導をお願いしたこの企画は、全く最善のものだった。まだあれから皆忙しく、お約束したカレー・ミーティングも実施出来ていないが、その際、モーツアルトの他の弦楽5重奏とブラームスの5重奏などをお願いしようかしていると、大好きな「木野ちゃん」から電話がかかってきて「今度の僕の出番はいつだっけ？」と言われてそ

うな予感がそろそろしているから：(2013年9月8日) (吉野 忠彦) (日本エストニア友好協会会長・湘南モーツアルト愛好会企画担当役員)

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

# 日本フィルハーモニー交響楽団

人も地球も健康に  
**Yakult**  
クラシフィック・スペシャル

ニューイヤーコンサート!



## NEW YEAR'S CONCERT 2014

第208回 サンデーコンサート

2014年1月12日(日)

午後2時30分開演 午後1時30分ロビー開場 午後4時30分終了予定

東京芸術劇場 コンサートホール

料金(税込) 好評発売中

S席 6,500円 A席 5,500円 B席 4,500円 C席 3,500円

Ys席(25歳以下) 1,500円 Gs席(65歳以上) 3,500円

\*公演、公演日、公演時間、公演場所、公演料金、公演チケットの購入方法、公演チケットの取り扱いは、本公演のホームページをご覧ください。

\*本公演のチケットは、公演前日まで、本公演のホームページから予約受付いたします。公演当日は、本公演の会場にて受付いたします。

【主催】公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

【協賛】株式会社ヤクルト本社

モーツアルト

《フィガロの結婚》序曲

シベリウス

ヴァイオリン協奏曲

シュトラウス二世

《こうもり》序曲

ヨゼフ・シュトラウス

鍛冶屋のポルカ

シュトラウス二世

《芸術家の生涯》

ワルツ

トリッチ・トラッチ・ポルカ

美しく青きドナウ

## 木野雅之スケジュール 2013年10月～2014年3月

ソロ	日時	公演名	場所	共演者	曲目
	10/3(木)18:45	日フィル題名のない音楽会	東京 文京シビック	佐渡裕(Cond)他	伊福部 シンフォニア タブカーラ他
	10/5(土)19:00	トリオミンストレルコンサート	三重 四日市ムーシケ	北住淳(Pf)他	ピアソラ 春他
☆	10/9(水)20:30	浴衣でコンサート	神奈川 箱根仙石原仙郷樓	小林知子(Vc)	ヘンデル ソナタ第1番他
☆	10/10(木)16:30	ホロコーストの音楽	東京 女子大	川崎万里(話)	イザイ 無伴奏ソナタ第2番他
	10/11(金)18:30	トリオミンストレルコンサート	福岡 あいれふH	小川剛一郎(Vc)他	ピアソラ 夏他
☆	10/13(日)14:00	第3回、伊勢原の詩	神奈川 伊勢原ムジーク	山形隼人(VI)他	ハイドン 太陽他
☆	10/21(月)15:30	音楽の小箱リサイタル	東京 練馬文化小	木野真美(Pf)	矢代 子守唄他
☆	10/21(月)19:00	音楽の小箱リサイタル	東京 練馬文化小	木野真美(Pf)	矢代 子守唄他
☆	10/22(火)19:00	グローバル ピースコンサート	東京 二子玉川オーキッドサロン	平沢匡朗(Pf)他	プロッホ ニグン他
	10/26(土)18:00	日フィル第291回横浜定期	神奈川 横浜みなとみらい	横坂源(Vc)他	チャイコフスキー ロココ変奏曲他
	10/27(日)14:30	日フィル第207回サンデーコンサート	東京 芸劇	アレクサンドル・ラザレフ(Cond)他	マーラー 交響曲第9番他
	11/1(金)19:00	日フィル第655回定期	東京 サントリーH	小林研一郎(Cond)	ブラームス 交響曲第3番他
	11/2(土)14:00	日フィル第655回定期	東京 サントリーH	小林研一郎(Cond)	ブラームス 交響曲第3番他
	11/4(月祭)14:00	トリオミンストレルコンサート	東京 王子H	小川剛一郎(Vc)他	ピアソラ 秋他
	11/8(金)19:00	日フィル第80回さいたま定期	埼玉 大宮ソニック	浮ヶ谷孝夫(Cond)他	ウェーバー オイリアンテ他
	11/10(日)15:00	日フィル杉並シリーズ2013第4回	東京 杉並公会堂	飯守泰次郎(Cond)	ワーグナー ジークフリート牧歌他
☆	11/13(水)19:00	日フィル北とびあ国際音楽祭2013	東京 北とびあ	西本智実(Cond)他	リムスキーコルサコフ シェヘラザード他
	11/16(土)18:00	日フィル横浜市招待ピアノ演奏会	神奈川 横浜みなとみらい	ミシェル ダルベルト(Pf)他	ラヴェル 左手のための協奏曲他
	11/17(日)14:00	トリオミンストレルコンサート	東京 安養寺	伊達弦(Perc)他	ピアソラ 冬他
☆	11/27(水)19:00	リサイタル	茨城 日立遊音	佐藤勝重(Pf)他	
☆	11/30(土)17:00	情熱の肥後デュオリサイタル	熊本 ルーテル学院	タラス デムチシン(CI)他	パルトーク コントラスト他
☆	12/1(日)16:00	情熱の肥後デュオリサイタル	福岡 博多平尾スタジオフリッツナタ	藤本史子(Pf)他	サンサーンス 死の舞踏他
	12/6(金)19:00	日フィル第656回定期	東京 サントリーH	小泉和裕(Cond)	小倉 交響曲ト調他
	12/7(土)16:00	日フィル第656回定期	東京 サントリーH	小泉和裕(Cond)	小倉 交響曲ト調他
☆	12/8(日)	発表会	東京 二子玉川オーキッドサロン	柴田恵奈(VI)他	
☆	12/9(月)20:30	浴衣でコンサート	神奈川 箱根仙石原仙郷樓	平沢匡朗(Cemb)	ダラビッコラ タルティニアーナ他
☆	12/11(水)19:00	リサイタル	大阪 北浜ヒビキミュージックリーヴ	藤井咲子(VI)他	イザイ エクスタシー他
	12/13(金)18:45	トリオミンストレルコンサート	大阪 ムラマツリサイタルH	小川剛一郎(Vc)他	ドビュッシー ミンストレル他
☆	12/14(土)	フルニエチャリティーコンサート	東京 トモノH	藤本史子(Pf)他	トロヤン 鶯他
☆	12/15(日)	MEC25周年記念コンサート	東京 王子H	門田美由紀(Pf)他	ピアソラ プェノスアイレスのマリア他
☆	12/16(月)	フォルテサロンコンサート	東京 聖路加ルーク	見角悠代(Sop)他	
	12/19(木)19:00	日フィル第九特別演奏会	東京 芸劇	小林研一郎(Cond)他	パッハ G線上のアリア他
☆	12/20(金)19:00	サーカスとヴァイオリン	東京 草月会館	シルクドゥソレイユ(Circus)	ミヨー 屋根の上の牛他
	12/21(土)18:30	日フィル第33回宇都宮第九	栃木 宇都宮市文化会館	高関健(Cond)他	ベートーヴェン フィデリオ他
	12/22(日)15:00	日フィル江藤俊哉ガラコンサート	東京 ルネ小平	尾池亜美(VI)他	ブラームス ヴァイオリン協奏曲他
	12/23(月祭)14:00	日フィル第九特別演奏会	東京 芸劇	長井浩美(Org)他	パッハ トッカータとフーガ他
	12/26(木)19:00	日フィル第九特別演奏会	神奈川 横浜みなとみらい	菅英三子(Sop)他	パッハ G線上のアリア他
	12/27(金)19:00	日フィル第九特別演奏会	東京 サントリーH	錦織健(Ten)他	パッハ トッカータとフーガ他
	12/28(土)14:30	日フィル第九特別演奏会	東京 芸劇	青戸知(Bar)他	ベートーヴェン 第九他
☆	1/11(土)18:00	日フィル第294回横浜定期、木野雅之演奏生活30周年記念コンサート	神奈川 横浜みなとみらい	阪哲朗(Cond)	シベリウス ヴァイオリン協奏曲他
☆	1/12(日)14:30	日フィル第208回サンデー、木野雅之演奏生活30周年記念コンサート	東京 芸劇	阪哲朗(Cond)	シベリウス ヴァイオリン協奏曲他
	1/13(月祭)15:00	ラスカニューイヤークンコンサート	神奈川 平塚ラスカH	手塚幸紀(Cond)他	シューベルト 交響曲第5番他
☆	1/17(金)14:00	日フィル立教女学院コンサート	東京 杉並公会堂	山下一史(Cond)他	リムスキーコルサコフ スペイン奇想曲他
☆	1/18(土)	アンサンブル自由が丘コンサート	神奈川 横浜みなとみらい小H	田淵彰(Cond)	メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲第1番他
☆	1/19(日)15:00	日フィル杉並シリーズ	東京 杉並公会堂	上原彩子(Pf)他	リムスキーコルサコフ スペイン奇想曲他
☆	1/26(日)12:00	まさゆき倶楽部新年会	東京 華空間		
	1/30(木)	日フィル都民フェスティヴァル	東京 芸劇	藤岡幸夫(Cond)他	シベリウス 交響曲第2番他
	1/31(金)19:00	日フィル情熱の指揮、フレッシュ名曲コンサート	東京 きゅりあん	西本智実(Cond)他	ベートーヴェン 交響曲第7番他
	2/1(土)14:00	日フィル立川フレッシュ名曲コンサート	東京 立川市民会館大H	小川響子(VI)他	ブルッフ ヴァイオリン協奏曲第1番他
	2/2(日)14:00	日フィルコンサート	東京 新宿文化C	上野通明(Vc)他	ドヴォルザーク チェロ協奏曲他
	2/5(水)14:00	室内楽コンサート	熊本 鶴屋カーネーションH	岩井宏司(Cb)他	ポッテシーニ パッションネ アモロージ他
☆	2/6(木)19:00	情熱の肥後デュオリサイタル	熊本 人吉森のH	藤本史子(Pf)	ヤナーチェク ヴァイオリンソナタ他
	3/8(土)	日フィルコンサート	東京 府中の森	小林研一郎(Cond)他	ラヴェル ボレロ他
	3/9(日)14:00	日フィルコパケンワールド	東京 サントリーH	南紫音(VI)他	チャイコフスキー ヴァイオリン協奏曲他
	3/14(金)19:00	日フィル第658回定期	東京 サントリーH	浜野与志男(Pf)他	スクリャービン ピアノ協奏曲他
	3/15(土)14:00	日フィル第658回定期	東京 サントリーH	浜野与志男(Pf)他	スクリャービン ピアノ協奏曲他
☆	3/23(日)13:00、16:00	リサイタル	東京 安養寺	石黒雅子(Pf)	
☆	3/24(月)	フォルテサロンコンサート	東京 聖路加ルーク	菊地珠里(Pf)他	
	3/30(日)	日フィルビルボードコンサート	東京 芸劇	外山啓介(Pf)他	